

令和4年度（2022）

かごしま

近代文学館・メルヘン館年報

目 次

	頁
1 沿 革	1
2 施設概要	3
3 かがしま近代文学館	5
(1) 1階常設展示	5
(2) 2階常設展示「鹿児島文学の群像」	5
(3) 向田邦子の世界	5
(4) 文学ホール	5
(5) ライブラリー	5
4 かがしまメルヘン館	6
(1) おはなしのまち	6
(2) おはなしの散歩道	6
(3) 絵本のお城	6
(4) わくわくスタジオ	6
(5) メルヘンホール	6
(6) 親子読書コーナー	6
5 事業概要	7
かがしま近代文学館	7
かがしまメルヘン館	20
令和4年度かがしま近代文学館・かがしまメルヘン館 利用実績	25
令和4年度かがしま近代文学館・かがしまメルヘン館 観覧料等収納額	27
6 収蔵資料概況	28
7 管理運営	30
(1) 利用者数	30
(2) 公益財団法人かがしま教育文化振興財団の概要	32
(3) かがしま近代文学館・かがしまメルヘン館事務の業務体制	32
8 かがしま近代文学館条例（平成9年 条例第35号）	33
9 かがしまメルヘン館条例（平成9年 条例第36号）	36

1 沿 革

かごしま近代文学館、かごしまメルヘン館のあゆみ

平成 3 年 12 月	近代文学館（仮称）、世界のおとぎの館（仮称）建設の検討を鹿児島市実施計画に発表
5 年 6 月 24 日	近代文学館（仮称）及び人形の館（仮称）基本構想・検討委員会設置
6 年 3 月 31 日	基本構想・基本計画策定
6 年 7 月 15 日	名称をかごしま近代文学館及びかごしまメルヘン館に変更
7 年 2 月 1 日	建築・展示基本設計完了
7 年 3 月 29 日	建築・展示実施設計完了
9 年 9 月 16 日	本体工事、電気設備工事、空気調和設備工事、給排水設備工事完成
9 年 10 月 3 日	かごしま近代文学館条例及びかごしまメルヘン館条例公布
9 年 11 月 28 日	展示工事完成
9 年 12 月 1 日	財団法人鹿児島市教育施設管理公社設立
10 年 1 月 1 日	かごしま近代文学館及びかごしまメルヘン館の管理運営業務を鹿児島市から財団法人鹿児島市教育施設管理公社に委託
10 年 1 月 28 日	かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館の落成記念式典開催
10 年 1 月 29 日	開館
10 年 9 月 5 日	かごしまメルヘン館常設展示入館者 10 万人達成
11 年 1 月 29 日	かごしま近代文学館初の特別企画展「有島三兄弟と白樺派」展の開催（～2 月 28 日）
12 年 3 月 5 日	かごしまメルヘン館常設展示入館者 20 万人達成
12 年 11 月 1 日	かごしま近代文学館常設展示入館者 10 万人達成
16 年 7 月 23 日	鹿児島県教育委員会が、かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館を、博物館法第 29 条により「博物館に相当する施設」として指定
18 年 4 月 1 日	財団法人鹿児島市教育施設管理公社がかごしま近代文学館・かごしまメルヘン館の指定管理者として、管理運営を開始
19 年 10 月 4 日	かごしま近代文学館開館 10 周年記念イベント「宮尾登美子記念講演会」の開催
20 年 2 月 8 日	かごしまメルヘン館開館 10 周年記念イベント「エリック・カールの世界」展の開催（～3 月 9 日）
20 年 3 月 31 日	リニューアル基本計画策定
21 年 3 月 9 日	リニューアル基本設計・実施設計完了
21 年 7 月 3 日	かごしまメルヘン館初の特別企画展「ようこそ！絵本遊園地」の開催（～8 月 31 日）
22 年 7 月 5 日	リニューアル工事のため休館（～23 年 3 月 29 日）
23 年 3 月 30 日	展示施設リニューアルオープン
23 年 4 月 1 日	財団法人鹿児島市教育施設管理公社から、財団法人かごしま教育文化振興財団に名称変更。財団法人かごしま教育文化振興財団がかごしま近代文学館・かごしまメルヘン館の指定管理者として、管理運営を開始
23 年 5 月 13 日	かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館合わせて、入館者 200 万人達成
23 年 7 月 15 日	かごしまメルヘン館リニューアル記念特別企画展「ミッフィーのたのしいお花畑」の開催（～8 月 31 日）
23 年 10 月 14 日	かごしま近代文学館リニューアル記念特別企画展「島尾敏雄展」の開催（～11 月 13 日）
25 年 4 月 1 日	公益財団法人かごしま教育文化振興財団へ移行
25 年 10 月 4 日	北九州市立文学館、尾道市立美術館、新宿歴史博物館との協働企画、かごしま近代文学館特別企画展「生誕 110 年林芙美子展 風も吹くなり雲も光るなり」の開催（～11 月 4 日）
28 年 2 月 24 日	かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館合わせて、入館者 300 万人達成
30 年 2 月 10 日	かごしまメルヘン館開館 20 周年記念事業「あこがれの絵本作家がやってきた！」鈴木のりたけ×高島那生の開催（～11 日）

- 30 年 2 月 12 日 かごしま近代文学館開館 20 周年記念事業 島尾敏雄生誕 100 年、島尾ミホ没後 10 年記念トークショー「島尾敏雄・ミホを辿って」の開催
- 令和元年 12 月 20 日 かごしま近代文学館・メルヘン館及び鹿児島市立美術館共用駐車場の供用開始
- 3 年 3 月 10 日 財団自主事業特別展「りぼん 250 万りぼんっ子♥大增刊号」の開催（～4 月 12 日）
- 5 年 1 月 25 日 かごしま近代文学館開館 25 周年記念企画展「かごしま近代文学館偏愛コレクション&現代作家が紡ぐ鹿児島物語」展の開催（～5 月 22 日）

2 施設概要 (令和5年3月31日現在)

(1) 施設規模等

- ① 所在地 鹿児島市城山町5番1号
- ② 建物構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地階1階 地上3階
- ③ 敷地面積 3,418.15 m²
- ④ 建築面積 2,289.36 m²
- ⑤ 延床面積 5,874.31 m²

※「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の促進に関する法律」(通称「ハートビル法」)の認定建物

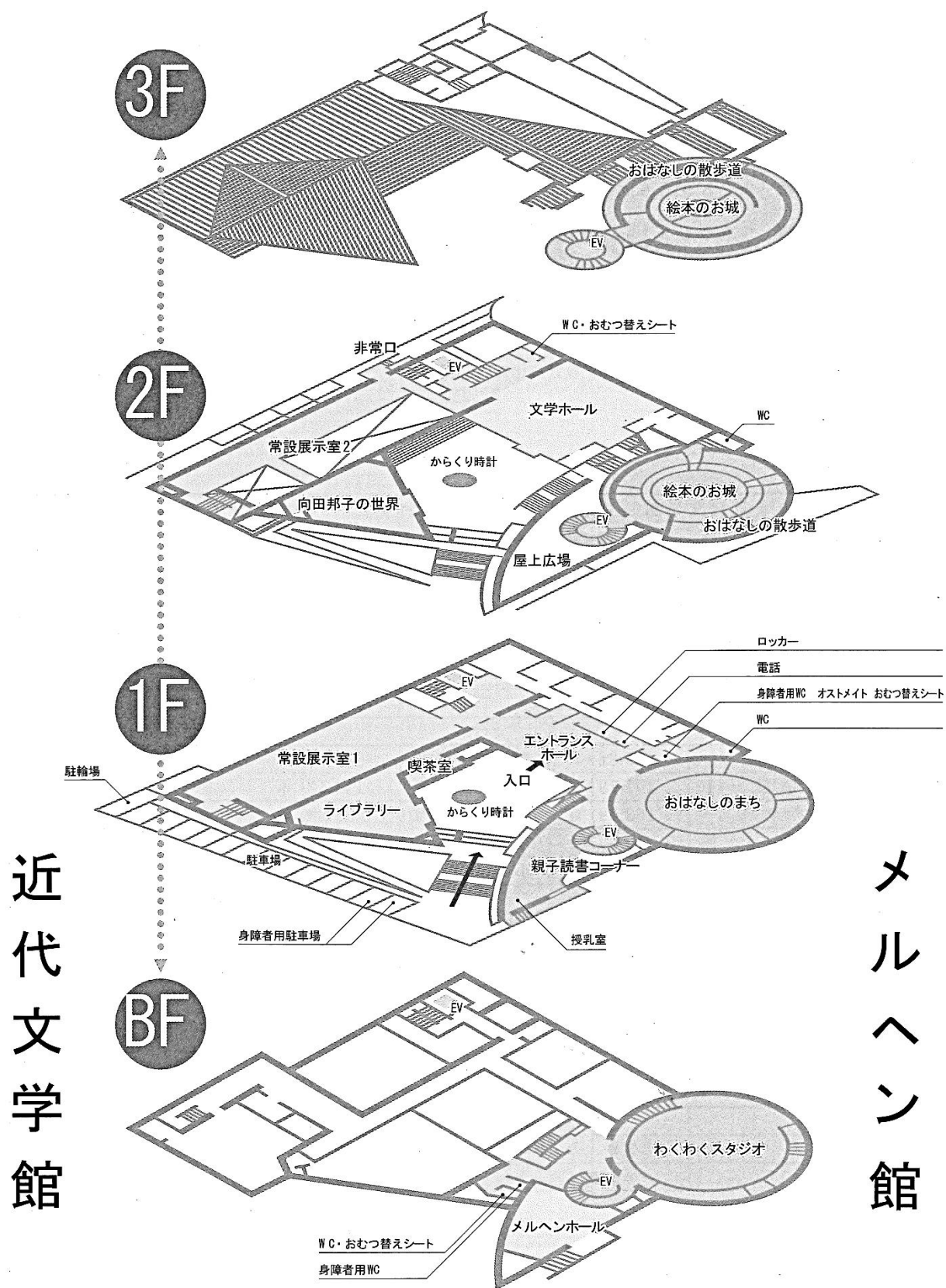
- ⑥ 管理運営主体 公益財団法人かごしま教育文化振興財団

- ⑦ 室別面積一覧表

(単位 ; m²)

区分 階数	かごしま近代文学館		かごしまメルヘン館		共用・管理部門		合 計
	室 名	面 積	室 名	面 積	室 名	面 積	
地下 1 階	収蔵庫-2	232.98	わくわくスタジオ	383.64	ロビー	40.06	2,039.49
	収蔵庫-3・前室	207.38	メルヘンホール	132.64	機械室	243.79	
	会議室	35.38	収蔵庫-1	134.49	ボンベ室	18.27	
	くん蒸室・前室	20.67	その他	41.57	ポンプ室	14.40	
	その他	39.41			その他	494.81	
	(小計)	535.82	(小計)	692.34	(小計)	811.33	
1 階	展示ロビー	59.22	おはなしのまち	383.64	エントランスホール	289.28	1,988.06
	常設展示室-1	401.79	親子読書コーナー	113.52	事務室	68.56	
	ライブラリー	163.69	書 庫	29.04	常務理事室	27.59	
	その他	19.09	その他	56.51	その他	376.13	
	(小計)	643.79	(小計)	582.71	(小計)	761.56	
2 階	展示ロビー	94.84	おはなしの散歩道	187.03	事務局	47.81	1,191.56
	常設展示室-2	184.37	その他	56.81	その他	157.41	
	文学ホール 企画展示室	321.30					
	向田邦子の世界	100.99					
	その他	40.00					
	(小計)	741.50	(小計)	243.84	(小計)	205.22	
3 階			おはなしの散歩道	267.91	屋外機置場	134.56	656.20
			その他	128.76	その他	124.97	
			(小計)	396.67	(小計)	259.53	
合計		1,921.11		1,915.56		2,037.64	5,874.31

(2) 平面図



3 かごしま近代文学館

鹿児島市は平成元年に市制施行 100 周年を迎え、その記念事業の一つとして児童文学作家・棕鳩十の業績を顕彰するため「棕鳩十児童文学賞」を創設しました。

そして、この賞で醸成された文学振興の気運を更に高めるため、鹿児島にゆかりのある作家とその作品などを紹介し、文学の振興を図る「かごしま近代文学館」を建設しました。

また、平成 23 年 3 月 30 日には装いも新たにリニューアルオープンし、作家たちが創作に傾けた情熱を来館者が体感し、自らの読書意欲や創作への興味を高められるようにと展示内容、展示方法を全面的に刷新しました。

地階 収蔵庫 2、収蔵庫 3、くん蒸室

1 階 「鹿児島情熱絵巻」、「鹿児島ゆかりの作家たち」、「ゆかりの作家たちの情熱」、「文学アトリエ」

2 階 「鹿児島文学の群像」、「向田邦子の世界」、文学ホール

(1) 1 階 常設展示

- ・「鹿児島情熱絵巻」…………… 鹿児島の情景とそこで生まれた文学作品を、映像演出により紹介するコーナー。
- ・「鹿児島ゆかりの作家たち」… 常設展示作家 28 人のポートレートと、作家たちの進る情熱を表現した言葉のレリーフが出迎えてくれるコーナー。
- ・「ゆかりの作家たちの情熱」… 鹿児島ゆかりの 5 人の作家が創作にかけた情熱を、様々なテーマの下、ジオラマや文学資料、遺愛の品々等をとおして紹介するコーナー。
＜展示作家＞ 海音寺潮五郎、林芙美子、棕鳩十、梅崎春生、島尾敏雄
- ・「文学アトリエ」…………… ことば遊びやワークショップ、読書を通じて、来館者がことばや文学に触れ合えるコーナー。

(2) 2 階 常設展示「鹿児島文学の群像」

- ・鹿児島ゆかりの 22 人の作家を紹介。また、様々なテーマで収蔵品展や企画展などを開催するコーナー。
＜展示作家＞ 有島武郎、有島生馬、里見弴、昇曙夢、山本實彦、古木鐵太郎、平林彪吾、妻木新平、一色次郎、黒田三郎、八田知紀、税所敦子、黒田清綱、高崎正風、吉井勇、萬造寺齊、森園天涙、杉田久女、山口誓子、篠原鳳作、藤後左右、福永耕二

(3) 向田邦子の世界

- ・少女時代の 2 年余りを過ごした鹿児島の地を「故郷もどき」と呼び、生涯鹿児島を愛し続けた向田邦子。ここでは、「作品世界」「ライフスタイル」「向田と鹿児島」などの展示構成で、いつ訪れても向田邦子の残り香に触れられる、そんな世界を演出しています。

(4) 文学ホール（約 200 人収容）

- ・館主催で文学講座や講演会・企画展等を開催するほか、貸ホールとして一般への貸し出しも行っています。

(5) ライブラリー（無料）

- ・鹿児島ゆかりの文学作品や文学雑誌などを、手に取って読める資料閲覧コーナーです。

4 かごしまメルヘン館

かごしまメルヘン館では平成 10 年の開館以来、世界の民話や童話を紹介してきました。そして平成 23 年 3 月 30 日のリニューアルでは、新たに、真っ白なキャンバスに思い思いの絵を描くように、来館者一人一人の想像力を膨らませてほしいとの願いから、展示コンセプトを「まっしろな絵本」としました。お話の世界を体感できるコーナーも増設され、遊びをとおして、お話や絵本に興味をつなげられる施設となっています。

地 階	わくわくスタジオ、メルヘンホール、収蔵庫 1
1 階	おはなしのまち、親子読書コーナー
2～3階	おはなしの散歩道、絵本のお城

(1) おはなしのまち

- ・おはなしのお家

「ヘンゼルとグレーテル」のお菓子のお家など童話に出てくるお家や変身グッズで、お話の世界を体感できる乳幼児向けのコーナー。

- ・お城でへんしん

鏡に映る自分の姿がお話の主人公に変身。

- ・ぼうけんの森

豆の木アスレチック、蜂の巣迷路、トランプトンネルなど、遊びながらお話の世界を体験。

(2) おはなしの散歩道

- ・トリックアート

だまし絵で見る「不思議の国のアリス」の世界。

(3) 絵本のお城

- ・絵本の小部屋

お薦め絵本の展示コーナー。

- ・人形の小部屋

お話に登場する人形などの展示。

(4) わくわくスタジオ（約 70 人収容）

- ・まっしろな絵本

真っ白なスクリーンにお話の主人公や舞台となる場所を決めながらオリジナルストーリーを完成させます。

- ・人形展示コーナー

季節の人形や郷土人形、物語の主人公の人形などを展示。

(5) メルヘンホール（約 100 人収容）

- ・おはなし会など普及支援事業を開催するほか、貸ホールとして一般への貸し出しも行っています。

(6) 親子読書コーナー（無料）

- ・絵本や紙芝居を親子が床に座って楽しめるコーナー。読み聞かせ会やおはなし会なども行います。

5 事業概要

かごしま近代文学館

常設展示の充実や企画展、各種講座及びイベント等を積極的に行い、鹿児島ゆかりの作家を中心に、資料の展示や作品の紹介を通して、文学の振興と普及に努めました。

特別企画展「白洲次郎・白洲正子 武相荘折々の暮らし」では、プリンシプルを生涯の信条として、日本の復興に尽力した白洲次郎と、鹿児島にルーツを持つ随筆家の白洲正子、二人の生き方を紹介するとともに関連イベントを開催しました。また、企画展「向田邦子の家時間～着ること食ふこと住まうこと～」、開館 25 周年記念企画展「かごしま近代文学館偏愛コレクション&現代作家が紡ぐ鹿児島の物語」展を開催し、常設展示作家を中心として鹿児島にゆかりのある作家や作品の魅力について、市内外に情報発信しました。

(1) 教育文化施設の管理及び運営に関する事業

① 施設の維持管理

館の敷地（駐車場を含む。）、建築物・展示物等の施設及び付属設備・備品の維持管理を適切に行いました。

② 常設展示

常設展示室各コーナーの展示資料を入れ替え、再来館者にも新たな視点で文学への興味関心を深めていただけるように努めました。

ア 鹿児島ゆかりの作家たち（導入展示）

節目の年を迎えた常設展示作家を中心に、相応しいテーマを設けて紹介しました。

期間	テーマ	展示資料
4/1～5/30	鹿児島ゆかりの作家たちの童話	雑誌「赤い鳥」復刻版第1巻第2号（有島生馬「泣いて褒られた話」、林芙美子 図書『狐物語』、棕鳩十 複製原稿「ヤクザル大王」
6/1～7/31	没後 70 年 山本実彦	雑誌「改造」第 20 巻第 4 号（二十周年記念号）、図書『我観南国』、図書『巨いなる歩み』
8/1～9/30	山を書く	白洲正子 図書『白洲正子自伝』、杉田久女 色紙「飴して山ほとゝき須ほしいまゝ」、雑誌「旅」第 32 巻 8 号（梅崎春生「八ヶ岳に追いかえされる」）
10/1～12/5	生誕 140 年 有島生馬	雑誌「白樺」第 2 巻第 8 号（有島生馬「獣人（滞鷗記その三）」）、図書『南欧の日』色紙「清風徐来水波不興」

12/7～2/13	里見淳 没後 40 年	雑誌「白樺」第4巻第7号（里見淳「君と私と」、志賀直哉「モデルの不服」）、図書『善心悪心』、図書『本音』、写真パネル 白樺時代の里見淳
2/15～3/31	桃の節句 雛祭り	杉田久女 色紙「雛祭る子の良縁のあれかしと他」、水原秋櫻子 色紙「遠つ世の面輪かしこし木彫雛」、林芙美子 短冊「村を出てここにさんてふ桃の花」

イ ゆかりの作家たちの情熱（5人の作家）

3月に5人の作家について、パネルと資料の一部の入替えを行いました。

時期	作家	展示資料	新規展示数
3月	海音寺潮五郎	古地図「江戸城大奥」、原稿「本朝女風俗 一」、草稿「茶道太閤記筋書」、遺品 直木賞正賞の懐中時計、図書『柳沢騒動』 等	14 点
	林芙美子	遺品 羽織、色紙「硯冷えて銭もなき冬の日暮れかな」、川端康成 図書『文章』 等	11 点
	棕鳩十	原稿「置き忘れてきた国」（改題「山のじいちゃんと動物たち」）、取材ノート「西表島について」、図書『黄金の島』 等	10 点
	梅崎春生	原稿「師匠」、江戸川乱歩 書簡 梅崎春生宛て、台本「豚と金魚」、台本「つむじ風」、原稿「独楽」、雑誌「宝石」昭和32年8月号 等	11 点
	島尾敏雄	日記「夏季学習 小学生日誌 第三学年用」、遺品 予備学生時の軍服、島尾敏雄 書簡 大平ミホ宛て 等	10 点

ウ 向田邦子の世界

10月に「向田邦子の世界」コーナーの資料及びパネルの入替えを行いました。

展示資料	展示数
雑誌「銀座百点」、構想メモ「ごはん」、原稿「『眠る盃』あとがき」、司修装丁画「夜中の薔薇」、風間完 表紙画「向田邦子全対談」、草稿「毛糸の指輪」 等	54 点

エ 鹿児島文学の群像（22人の作家）

11月、1月に常設展示の22人の作家の資料の入替えを行いました。

時期	展示資料	新規展示数
11月	有島武郎 原稿「自己を歌ふ」（複製）、有島生馬 原稿「思い出の我」（複製）、里見淳 図書『朝夕』、山本実彦 雑誌「改造」1923年10月号、昇曙夢 図書『コーカサスの俘虜』、吉井勇 雑誌「明星」（復刻版）1905年5月号、萬造寺齊 雑誌「明星」（復刻版）1905年2月号、森園天涙 雑誌「珊瑚礁」1971年9月号、杉田久女 雑誌「花衣」、黒田三郎 封書 多菊光子宛て 等	36 点

1 月	平林彪吾 図書『月のある庭』、妻木新平 原稿「名医録」、古木鐵太郎 原稿「紅いノート」、一色次郎 図書『石をして語らしむ』、八田知紀 短冊「歳中鶯 たにの戸にふゆこもりしてうくひすのなかぬほとこそゆかしかりけれ」、税所敦子 短冊「老人惜落花 ながらへてことしも花ををしむこそうれしきおいのいのちなりけれ あつ子」、黒田清綱 短冊「浦鶴 千世の聲きこえあげんと大君のみゆきの浦にたつぞ鳴なる 清綱」、高崎正風 封書 吉井友実宛て、山口誓子 図書『青銅』、篠原鳳作 句稿「首里城 85 句」、福永耕二 句稿「北海道行」、藤後左右 色紙「黄と赤にシカゴの花は咲かすべし」等	16 点
-----	---	------

オ 本のひろば（学芸員のおすすめ本等）

芥川賞・直木賞の受賞作など、最新の出版物の紹介や展示作家の関連本の展示などを行いました。

時期	テーマ	展示資料
4 月	旅と文学—歌人・俳人・詩人編	細川光洋『吉井勇の旅靴』 森まゆみ『「五足の靴」をゆく』 田村隆一『詩人の旅』 山口誓子『自作案内』
8 月	第 167 回 芥川賞・直木賞 受賞作品	高瀬隼子『おいしいごはんが食べられますように』 窪美澄『夜に星を放つ』
1 月	第 168 回 芥川賞・直木賞 受賞作品	井戸川射子『この世の喜びよ』 佐藤厚志『荒地の家族』 千早茜『しろがねの葉』 小川哲『地図と拳』

カ 本のひろば（ランキングコーナー）

リレー方式で、さまざまな分野で活躍されている方に独自のランキングを作ってもらい、その本をコメント入りで紹介し、展示しました。

期間	テーマ	紹介者
4 月～ 6 月	リアリティを巡って	諏訪田寛人（古本屋ブックスパーチ）
7 月～ 9 月	パンデミックから垣間見た、人間が本当に必要なものを考えさせられる本 BEST5	ブラッドショー・チサト（読書会「READ」）
10 月～12 月	読んでから見る？ 見てから読む？ 意外性のある映像化がされた作品 BEST5	飯島美穂子（読書会「READ」）
1 月～ 3 月	息遣い、筆遣い	馬場麻衣子（読書会「READ」）

キ 本のひろば（今月の一冊）

かごしま近代文学館スタッフによる、お勧めの本を毎月1冊紹介しました。

時期	展示資料	
4月～3月 (毎月1冊)	美村里江『たん・たんか・たん』 石垣りん『現代の詩人5 石垣りん』 平凡社編集部編『作家と酒』 橋口幸子『珈琲とエクレーと詩人』 パウロ・コエーリョ『アルケミスト 夢を旅した少年』 百瀬しのぶ『ジョゼと虎と魚たち』	夢枕獏『陰陽師』シリーズ 茨木のり子『寄りかからず』 伊吹有喜『彼方の友へ』 近藤薫美子『かなしみのぼうけん』 倉阪鬼一郎『猫俳句 パラダイス』 梅崎春生『幻化』

③ ホール（文学ホール、メルヘンホール）使用の許可等の業務

ホールの各施設、備品等の使用に係る受付・許可及び使用料の収納事務を行いました。また、ホールの空き状況を館のホームページで公開しました。

区分	貸ホール日数	当館使用日数	総使用日数
	稼働率	稼働率	稼働率
文学ホール	14 日	116 日	130 日
	4.8%	39.9%	44.7%
メルヘンホール	27 日	91 日	118 日
	8.9%	30.0%	38.9%

※文学ホール 200 人収容 メルヘンホール 100 人収容

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、収容人員を文学ホール上限 100 人、メルヘンホール上限 40 人としました。

(2) 学術及び芸術文化に関する企画を提供する事業

① 特別企画展

ア 白洲次郎生誕 120 周年記念特別展「白洲次郎・白洲正子 武相荘折々の暮らし」

英国流のマナーと教養を身につけ、プリンスプルを生涯の信条とし、日本の復興に尽力した白洲次郎。幼少期から能を通して古典芸能に親しみ、きものや骨董を愛し、随筆家として多彩な活躍をした白洲正子。ふたりが終の棲家とした武相荘（東京都町田市）での暮らし方に注目し、その素顔に迫りました。

展示資料	開催期間	入場者数
白洲次郎 遺言書、オリベッティ社製タイプライター、福森雅武作 白洲次郎絵付 鉄絵湯呑、白洲正子 原稿「かくれ里 十三 丹生都比売神社」、白磁桃形水滴、樺山家伝来の宮廷装束、婚約時代に互いに贈ったポートレート、白地綿薩摩着物、着物「梅二月」、十字文紋旗指物 等 165 点	10/28～11/28 28 日間	3,486 人

《関連事業》

(7) 鼎談

次郎と正子の素顔を知るお三方に、ふたりとのエピソードやその素顔、ふたりの関係など、たっぷりと語る鼎談を開催しました。

講師	内容	会場	開催日	参加者数
青柳恵介（古美術評論家） 金子直樹（MIHO-MUSEUM 学芸員、本展監修者） 牧山圭男（旧白洲邸 武相荘館長）	白洲次郎と白洲正子について	メルヘンホール	10/29	45 人

(4) 文学講座

正子の随筆に注目し、作品について学ぶ講座を開催しました。

講師	内容	会場	開催日	参加者数
石田忠彦（かごしま近代文学館アドバイザー）	随筆家 白洲正子の作品について	メルヘンホール	11/20	39 人

(ウ) 薩摩琵琶による弾奏と朗読

鹿児島県指定無形文化財の薩摩琵琶による弾奏と正子作品の朗読を開催しました。

講師	内容	会場	開催日	参加者数
島津義秀（薩摩琵琶弾奏家、精矛神社宮司） 浜本麗歌（朗読家）	薩摩琵琶「春日野」「城山」「木崎原合戦三段」、朗読「春の香り」「隼人の国」	メルヘンホール	11/27	35 人

② 企画展

ア 「向田邦子の家時間～着ること食ること住まうこと～」

向田のライフスタイルを「衣・食・住」に分け、エッセイや関連資料で紹介しました。

展示資料	開催期間	入館者数
勝負服、肩掛け（エリザベス）、原稿「なんだ・こりゃ」、小山岑一作 阿蘭陀手の皿、整理棚（「う」の引き出し）、自筆メモ「いわしの梅煮」、藤田嗣治画「猫十態 眠る猫」、中川一政書「僧敲月下門」、原稿「縦の会」等 96 点	11/16～1/23 56 日間	5,550 人

イ 開館 25 周年記念「かごしま近代文学館偏愛コレクション&

現代作家が紡ぐ鹿児島物語」展

鹿児島ゆかりの作家たちが偏愛したモノ、コト、場所、ヒトにまつわる資料を蔵出し展示するとともに、鹿児島を舞台に、あるいはインスパイアされて描かれた現代小説を紹介しました。

展示資料	開催期間	入館者数
海音寺潮五郎旧蔵の刀剣、棕鳩十旧蔵の中村晋也ブロンズ像「裸婦」、林芙美子旧蔵の器、向田邦子「ままや」の暖簾、島尾敏雄のポーランド関係スクラップ帳、里見弴原稿「リーチの木工」／恩田陸「黒と茶の幻想」、金城一紀「花」、絲山秋子「逃亡くそたわけ」、日和聡子「火の旅」、梨木香歩「海うそ」、窪美澄「晴天の迷いクジラ」、角田光代「その、すこやかならざるときも」、中脇初枝「神に守られた島」「神の島のこどもたち」等 174 点	1/25～ 3/31(5/22) 57 日間	1,497 人

《関連事業》

作家による自作朗読&トークイベント

梅崎春生の名作「幻化」にオマージュを捧げた小説「火の旅」の作品背景を、朗読を交えて語っていただきました。

出演	内容	会場	開催日	参加者数
日和聡子（詩人、小説家）	「火の旅」と梅崎春生	メルヘンホール	3/21	36 人

③ 収蔵資料の充実

ア 文学資料の収集・保存

常設展示作家の資料、鹿児島ゆかりの文学作品及び文芸雑誌等の収集を行いました。なお、文学資料等の収集については、かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館資料収集検討委員会に諮った結果を鹿児島市に報告し、購入・寄贈の手続きをとりました。また、資料については、博物・文学等の専門知識を有した学芸員又は司書により、体系的に整理し収蔵庫に保存しました。

イ 収集文学資料の整理

収集した文学資料の装備、データ入力を行いました。

ウ 収蔵資料の修復

修復が望まれる収蔵資料について、修復を行いました。

④ 海音寺潮五郎を顕彰する事業 【財団自主事業】

ア 文学資料の整理・入力等

財団法人海音寺潮五郎記念館（平成 24 年解散）から寄贈を受けた資料の整理・入力等を行いました。

イ 著作権の管理及び活用

財団法人海音寺潮五郎記念館（平成 24 年解散）から寄付を受けた著作権の管理を行いました。

ウ 視聴覚資料のデジタルデータ化業務

所蔵資料のカセットテープの一部をデジタルデータ化しました。

(3) 学術及び芸術文化の普及及び支援に関する事業

① 講座・教室

ア 小説鑑賞講座「川端康成『山の音』を読む」

川端康成の『山の音』をテキストに、作品を読み解きました。

講師	会場	開催日	実績
石田忠彦（かごしま近代文学館アドバイザー）	メルヘンホール 又は 文学ホール	6 月～3 月 各第 4 木曜日※ 1 (10 回)	定員 40 人 応募 39 人 延べ受講者数 308 人
		6 月～3 月 各第 4 金曜日※ 2 (10 回)	定員 40 人 応募 52 人 延べ受講者数 351 人

※ 1 7 月、10 月は第 3 木曜日に実施

※ 2 10 月は第 3 金曜日に実施

イ 「戦後の小説を読む」

近代以降の小説の文章についてテキストを基に学びました。

講師	会場	開催日	実績
石田忠彦（かごしま近代文学館アドバイザー）	メルヘンホール 又は 文学ホール	6 月～3 月 各第 1 土曜日 (10 回)	定員 40 人 応募 54 人 延べ受講者数 328 人

ウ 文学入門講座「《解説＝快読 夏目漱石》『門』を読む」

夏目漱石の『三四郎』『それから』に続く前期三部作の三作目『門』を読み解きました。

講師	会場	開催日	実績
村瀬士朗（鹿児島国際大学教授）	メルヘンホール 又は 文学ホール	6月～10月※ 各第2日曜日 (5回)	定員 40人 応募 59人 延べ受講者数 152人

※第5回目（10月）は3月19日に延期して実施。

エ 朗読ボランティアステップアップ講座

かごしま近代文学館のボランティア「きんめるサポーター」に向けて、「朗読の時間」で朗読を行う上での実践講座を行いました。

講師	会場	開催日	実績
浜本麗歌（朗読家）	メルヘンホール	4/18、6/13、 9/5、10/17、 1/16、3/5 (6回)	延べ受講者数 16人

オ 日曜文学講座「お仕事小説を読む 津村記久子『この世にたやすい仕事はない』」

津村記久子の『この世にたやすい仕事はない』をテキストに、作品を読み解きました。

講師	会場	開催日	実績
廣尾理世子（鹿児島純心女子高等学校教諭）	メルヘンホール 又は 文学ホール	11月～3月 各第3日曜日※ (5回)	定員 40人 応募 31人 延べ受講者数 119人

※12月は、第3土曜日に実施

カ 俳句ことはじめ

俳句づくりの基本について学びました。

講師	会場	開催日	実績
丸山真（俳人、俳句雑誌「火の島」編集・発行人）	メルヘンホール	11月～3月 各第3土曜日 (5回)	定員 30人 応募 27人 延べ受講者数 107人

キ 文学講座「鹿児島ゆかりの作家を学ぶー近代の宮中歌壇を担った歌人たちー」

かごしま近代文学館常設展示作家として紹介する4人の歌人たちの作品を鑑賞する講座を開催し、和歌や短歌への興味関心を深めました。

講師	会場	開催日	実績
長福香菜（大分県立芸術文化短期大学准教授）	メルヘンホール	2/4	定員 40人 受講者数 23人

ク 脚本リーディング「向田邦子脚本『毛糸の指輪』を読む」【新規】

向田邦子のドラマ作品の一つを選び、リーディングをとおして、向田作品の魅力を伝えました。

講師	会場	開催日	実績
福藺宏美（劇団 LOKE 代表、俳優、劇作家）	メルヘンホール	11/5、11/19、 12/3、12/10、 12/17 (5回)	定員(1回15人) 15人 応募 15人 延べ受講者数 39人

② イベント等

ア ゴールデンウィークイベント 4/29～5/5

ゴールデンウィークイベントとして、本にまつわるさまざまな企画を実施しました。

(7) ブックマルシェ

本のフリーマーケットを開催しました。

出店数	会場	開催日	参加者数
9店	エントランス及び からくり時計前広場	5/3、5/4 (2日間)	635人

(4) リサイクルブックエイド～本で寄付するプロジェクト～

不要になった古本を集め、アジアにおける図書館運営や図書館員の育成、絵本出版などに役立てる活動を支援しました。

収集冊数	寄付額	開催日	参加者数
518冊	16,798円	4/29～5/5	23人

イ 現代作家による講演会

自身の作品や執筆について話していただく講演会を開催し、「ゆかりの糸の物語」をテーマに語っていただきました。

講師	会場	開催日	参加者数
伊吹有喜（作家）	文学ホール	2/19	48人

ウ 朗読の時間

常設展示室において、「きんめるサポーター」（ボランティア）が、かごしま近代文学館の展示作家や鹿児島ゆかりの文学作品を中心に小説、詩、随筆、児童文学作品等の朗読を行いました。

テーマ	作品	開催日	参加者数
文学で花束を	向田邦子「花束」 三角みづ紀「花束」「トースト」他 林芙美子「春の日記」	5/7	18人
棕鳩十作品を読む	棕鳩十「ひとりぼっちのツル」「鹿児島一のキツネ」「片耳の大鹿」	7/3	24人

コーヒーのある風景	向田邦子「一杯のコーヒーから」 三角みづ紀「コーヒーカップ」 北村太郎「白いコーヒー」 橋口幸子「珈琲とエクレアと詩人 スケッチ・北村太郎」	10/1	19 人
文学と音楽	林芙美子「距離」「心」「遺書」他 黒田三郎「苦行」「紙風船」 向田邦子「水羊羹」	11/3	15 人
偏愛コレクション	海音寺潮五郎「愛刀」 林芙美子「私の落書き」 島尾敏雄「『つげ義春作品集』一私の好きな本」 梅崎春生「カロ」	2/11	11 人
詩の朗読会	黒田三郎「小さなユリと」 三角みづ紀「どこにでもあるケーキ」 うるし山千尋「ライトゲージ」	3/18	15 人
合 計		6 日	102 人

エ 朗読会「有島武郎作品を読む」

常設展示作家・有島武郎の没後 100 年を記念して、「小さき者へ」「一房の葡萄」「溺れかけた兄妹」の 3 作品を朗読しました。

出演	会場	開催日	参加者数
寺田道雄（元NHKアナウンサー） 浜本麗歌（朗読家） 三村清（ギター） 三村沙希（ギター）	文学ホール	2/25	110 人

オ 朗読ワークショップ

朗読経験者を対象に、有島武郎作品等をテキストにした朗読の指導を行いました。

講師	会場	開催日	参加者数
寺田道雄（元NHKアナウンサー）	メルヘンホール	2/26	7 人

カ 学芸員によるギャラリートーク（メルヘン館と共通）

開催中の特別企画展等の見どころを、学芸員が分かりやすく解説しました。

内容	開催日	参加者数
特別企画展「わくわく！どきどき！絵本のふくぶくろ展」について	7/30	10 人
特別企画展「白洲次郎生誕 120 周年記念特別展 白洲次郎・白洲正子 武相荘折々の暮らし」について	11/12	25 人
企画展「向田邦子の家時間～着ること食べること住まうこと～」について	12/3	11 人
企画展「開館 25 周年記念 かごしま近代文学館偏愛コレクション&現代作家が紡ぐ鹿児島物語」展について	1/29	2 人
合 計	4 日	48 人

キ ブックトーク

「わたしと本の関りについて」というテーマで、おすすめの本や、図書館の仕事について紹介しました。

講師	会場	開催日	参加者数
松田優子（鹿児島市立天文館図書館長）	メルヘンホール	1/22	20 人

③ 文化芸術振興事業の実施〔受託事業〕

児童文学創作講座

鹿児島市の委託を受け、児童文学作家が講師となり、児童文学についての基礎的知識に始まり創作の方法の座学から実際の受講生作品の添削指導等を通して、児童文学の書き手を育てる講座を実施しました。

講師	会場	開催日	参加者数
村中李衣（児童文学作家、ノートルダム清心女子大学教授）	メルヘンホール	10/30	13 人
		11/13	12 人
		12/4	12 人
合 計		3 日	37 人

④ 教育機関等との連携・共催事業

博物館実習、職場体験学習等の受入れや大学との共催事業の開催など、教育機関等との連携を図りました。

ア 博物館実習、中高校生の職場体験学習の受入れ（メルヘン館と共通）

内容	校数	人数
博物館実習（志學館大学、鹿児島国際大学）	2 校	5 人
中高生職場体験学習	5 校	14 人
インターンシップ実習（鹿児島大学）	1 校	8 人
「近代日本文学」受講生学外研修（鹿児島純心女子短期大学）	1 校	44 人
「認定絵本土養成講座」研修（鹿児島女子短期大学）	1 校	27 人

イ 大学、研究機関との共催イベントの開催

(7) シンポジウム「戦後に、書きつづけること 島尾敏雄原稿がひらく文学の戦後」

(国文学研究資料館との共催)

開催日	会場	出演者	参加者数
9/17	国文学研究資料館 (オンライン)	石田忠彦 (かごしま近代文学館アドバイザー) 鈴木直子 (清泉女子大学教授) 安達原達晴 (東海大学講師) Yannick Maufroid (INARCO 研究員) 田代ゆき (組版労働者) 梯久美子 (ノンフィクション作家) 多田蔵人 (国文学研究資料館准教授)	81 人

(4) 没後 100 年 森鷗外 三人の女性・三つの作品 (鹿児島国際大学との共催)

開催日	会場	出演者	参加者数
2/5	文学ホール	鹿児島国際大学日本近代文学ゼミナール 学生 村瀬士朗 (鹿児島国際大学教授) 小林潤司 (鹿児島国際大学教授)	27 人

ウ 教職員の「社会体験研修」の受入れ

内容	校数	人数
中堅職員研修 (鹿児島玉龍高等学校)	1 校	2 人

⑤ アウトリーチ

内容	開催日	会場
かごしま近代文学館収蔵コレクション について～島尾敏雄を中心に～	11/5	鹿児島大学法文学部 国語国文学会
向田邦子の魅力	12/9	東京都立大学 オープンユニバーシティ (オンライン)
かごしま近代文学館の資料概要及び島尾 敏雄資料の公開事業の概要について	12/10	日本近代文学館 図書資料委員会 (オンライン)
棕鳩十作品交流会	1/25、 1/27	宝塚市立末成小学校 (オンライン)

⑥ ボランティアの活用（メルヘン館と共通）

館の運営や事業、広報活動のサポートをしていただくボランティア「きんめるサポーター」を募集し、さまざまな活動を行っていただきました。

内容	実施（回）	参加者数
朗読、読み聞かせ、発送作業、配架整理、イベント補助など	104 回	延べ 199 人

令和 4 年度ボランティア登録者数 45 人

⑦ 広報活動（メルヘン館と共通）

行事や催し物について、「館だより」を毎月発行し、市内の保育園・幼稚園・小学校に配布しました。

特別企画展や企画展、講座・イベントなどの開催については、市民のひろばや市政広報番組への広報協力要請はもとより、新聞社、放送局、地元情報誌等への情報提供を通じての広報活動に努めました。

最新の情報はホームページに掲載するほか、即応性が高いフェイスブック、ツイッター、Instagram等のソーシャルメディアを活用し、周知を図りました。

⑧ 職員研修（メルヘン館と共通）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文化庁等が開催する研修会等への職員派遣は見送りましたが、消火・避難訓練を実施したほか、緊急事態に対応できる研修を行いました。

⑨ モニタリング（メルヘン館と共通）

常設展示や特別企画展、講座・イベント等の開催時に、アンケートを実施しました。これに基づき、利用者の傾向・要望・意見等を分析、検討し、実施可能な要望・意見に対しては迅速に対応を図りました。

(4) 利用者サービス事業（メルヘン館と共通）

引き続き公衆電話を設置したほか、ミュージアムショップにおいて特別企画展関連書籍や地元出版社の書籍及び当館の所蔵品等をモチーフにしたオリジナルグッズ等の販売を行い、来館者へのサービス向上に努めました。

かごしまメルヘン館

魅力的で親しみやすい館づくりを目指し、常設展示やエントランスホール等の季節展示のほか、各種イベントの充実に努めました。

また、特別企画展「わくわく！どきどき！絵本のふくぶくろ展」では、子どもから大人まで人気の4人の絵本作家を紹介し、夏休み期間中の来館者増に努めました。

(1) 教育文化施設の管理及び運営に関する事業

① 施設の維持管理

館の敷地（駐車場を含む。）、建築物・展示物等の施設及び附属設備・備品の維持管理を適切に行いました。

② 常設展示

資料の入替えを定期的に行いました。

ア 人形展示コーナー（地下1階）

期間	展示内容
4/1～4/30	土人形 collection～素朴な土のぬくもり～
5/1～12/13	赤の世界～赤い人形、おもちゃ大集合～
12/14～3/31	もふもふ ぬいぐるみとディベア

イ 絵本の小部屋（絵本のお城3階）

期間	展示内容
4/1～6/26	トラとネコ科の絵本
6/27～9/9	さあ、でかけよう！旅・冒険の絵本
9/10～12/18	音を奏でる絵本
12/19～2/27	うさぎが主役の絵本
3/1～3/31	かごしまのえほん

ウ メルヘンアトリエ（おはなしの散歩道壁面）

期間	展示内容
4/1～6/29	春
6/30～10/21	夏
10/22～1/27	はたらくるま
1/28～3/29	ひなまつり
3/30～3/31	こいのぼり

エ おはなしのまち（1階）

「おはなしのお家」（お菓子のお家、森のお家及びお城）、おもちゃ及び絵本等の定期的な入替えを行いました。

オ エントランスホール

期間	展示内容
4/16～6/27	五月人形（折紙）
6/29～9/28	メルくん・ルンちゃんのまちがいさがし
9/28～11/30	メルくん・ルンちゃんのくりひろい
11/30～12/26	クリスマス
12/28～2/2	十二支
2/3～3/31	雛人形

(2) 学術及び芸術文化に関する企画を提供する事業

① 特別企画展「わくわく！どきどき！絵本のふくぶくろ展」

子どもから大人まで幅広い世代を魅了する絵本作家・鈴木のりたけ、tupera tupera、牧野千穂、ミロコマチコ4人の原画展を開催しました。

展示資料	開催期間	入場者数
原画「ゆきがふる」、原画「しごとば」、原画「しろくまのパンツ」、原画「てつぞうはね」、「ふくぶくろ」と題して各作家に選んでいただいたもの等 約 140 点	7/13～9/5 48 日間	4,512 人

《関連事業》

ミロコマチコワークショップ（午前の部「あつまれたくさんのネコたち」

／午後の部「みんなのおおきなおおきなネコ」／サイン会）

会場	開催日	参加者数
メルヘンホール	8/7	延べ 78 人

② 収蔵資料の充実

人形資料等の収集・保存

博物・文学等の専門知識を有した学芸員又は司書により、体系的に整理し、収蔵庫に保存しました。

(3) 学術及び芸術文化の普及及び支援に関する事業

① 講座・教室

講座・教室名	講師	開催日	参加者数
読み聞かせボランティア ステップアップ講座	浜本麗歌（朗読家） 三島理恵（松田ピアノ 友社講師）	5/22 （午前・午後）	延べ 25 人
わらべうた教室	三島理恵（松田ピアノ 友社講師）	毎月 第 2 金曜日	新型コロナウイルス感染症拡大 防止のため中止
折り紙ワークショップ	折遊かごしま	奇数月の 第 4 土曜日	74 人
「薩摩糸びな」手づくり ワークショップ	新山禮子（工房「小澤 人形」）	2/5	11 人
絵本講演会「子どもと楽 しむ絵本の世界 絵本の 今むかし」	広松由希子（絵本家）	6/5	67 人

② イベント等

ア おはなし会・読み聞かせ

行事名	開催日	参加者数
えほんのじかん（幼児・小学生向け）	土曜日（第 2 を除く。）	305 人
おはなしのじかん（乳幼児向け）	月曜日	新型コロナウイルス感染症拡大防止 のため中止
メルヘンおはなし会	第 2 土曜日	105 人
ストーリーテリングによるおはなし会	年 2 回	新型コロナウイルス感染症拡大防止 のため中止

イ ゴールデンウィークイベント 4/29～5/5 （近代文学館と同時開催）

行事名	講師	開催日	参加者数
ワークショップ「こぎん刺しで葉をつくる」	竹之内眞弓（こぎん 刺し lover）	4/29	15 人
ふるさと考古歴史館がやってきた（ふる さと考古歴史館との共働事業）	ふるさと考古歴史館 スタッフ	5/1	40 人
メルくんルンちゃんと写真をとろう	—	5/5	145 人
合 計		3 日	200 人

ウ コンサートとおはなし会

行事名	開催日	参加者数
親子で楽しむメルヘンコンサート&おはなし会 in 山形屋 (宝山ホール、山形屋との共催事業)	9/19	台風 14 号接近のため中止

エ 親子でライブペインティング

行事名	講師	開催日	参加者数
ワークショップ 親子でライブペインティング ～窓に春の物語の絵を描こう！～	こうか 江夏潤一 (イラストレーター)	3/26	27 人

オ お正月イベント

行事名	開催日	参加者数
メルくんルンちゃんと写真をとろう	1/2	88 人
からくり人形実演会「椅子乗り」「ハーブ弾き」	1/3	54 人
合 計	2 日	142 人

カ 春のふれあいコンサート&メルヘンおはなし会

行事名	会場	開催日	参加者数
春のふれあいコンサート&メルヘン おはなし会 (谷山サザンホール・ふる さと考古歴史館との共催事業)	ふるさと 考古歴史館	3/4	143 人

③ 文化芸術振興事業の実施〔受託事業〕

ア 第 4 4 回 子どもたちに聞かせたい創作童話

鹿児島市の委託を受けて、「子どもたちの夢をはぐくみ、美しい心を育てたい」という願いのもと、創作童話を募集し、その優秀作品を「子どもたちに聞かせたい創作童話」作品集として刊行する事業を実施しました。

募集区分	第 1 部 保育園・幼稚園児、小学校低学年児童向けの作品 第 2 部 小学校中・高学年児童向けの作品
募集期間	6/1～9/12
応募実績	第 1 部 98 点 第 2 部 89 点 合計 187 点
選考委員	有村恵 (鹿児島市小学校国語部会会長、鹿児島市立吉田小学校長) 上野恵美 (鹿児島童話会理事、かごしま児童文学あしべ同人) 内村英人 (鹿児島県小学校教育研究会国語部会会長、鹿児島市立喜入小学校長) 勝本祥治 (鹿児島市立生見小学校長) 田之上由美 (鹿児島市立図書館図書係主幹)
表彰式	2/26 18 人出席

受賞作品 及び 入選者	第1部	特選	あめのしずくのブレスレット	井上まゆみ
		入選	もりのフリーマーケット	陽桜
		入選	人魚姫の歌	末永志穂
		入選	おじいさんのメガネやさん	伊東希美子
		佳作	チューリップ三姉妹	夏目知佳
		佳作	なおくんのばんそうこう	正岡知子
		佳作	すなはまの宇宙人	外菌淳
		佳作	なきむし迷子のつゆぐもくん	朝谷悠
	第2部	特選	車の中でピクニック	山崎幸正
		入選	まごころのとしび	樋口達也
		入選	青い色の鼻	渡邊誠二
		入選	ボクのしあわせ	山口智史
		佳作	特別な夏休み	小林陽花
		佳作	るてるてぼうず	あらいずかのり
		佳作	こなつのおもいで	類沙いくよ

イ 「金の鈴」読み聞かせ会

小学生の読書活動へのきっかけづくりとするため、校区公民館等でのボランティアによる読み聞かせ会を鹿児島市の委託を受けて実施しました。

実施時期	協力団体数	実施（回）	参加者数
夏休み期間中（7/20～8/26）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
冬休み期間中（12/23～12/28）	5	11	145 人
春休み期間中（3/24～3/29）	6	10	202 人

④ おはなし小道具の貸出し

市内の読み聞かせボランティアグループを対象に、大型絵本、大型紙芝居などの貸出しを行いました。

貸出件数 14 件

令和4年度 かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館 利用実績
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位:人)

区分				4年度	3年度	対前年度	対前年度比(%)		
かごしま近代文学館	常設展示	有料	個人		5,498	3,118	2,380	176.3	
			団体		209	194	15	107.7	
			年間パスポート		457	573	△ 116	79.8	
			減額	福祉施設の活動		0	0	0	－
				※ 団体料金適用		408	212	196	192.5
		小計		6,572	4,097	2,475	160.4		
		免除	教育施設の活動		5,291	3,995	1,296	132.4	
			福祉施設の活動		129	44	85	293.2	
			敬老バス・ 身体障害者手帳等・その他		3,066	1,778	1,288	172.4	
			小計		8,486	5,817	2,669	145.9	
		無料	幼児		277	217	60	127.6	
		計		15,335	10,131	5,204	151.4		
		特別企画展		3,486	1,044	2,442	333.9		
		各種講座・講演会・催しもの		2,645	5,600	△ 2,955	47.2		
		アウトリーチ		0	0	0	－		
		ライブラリー		1,662	926	736	179.5		
		貸しホール利用者		1,272	398	874	319.6		
合 計				24,400	18,099	6,301	134.8		
かごしまメルヘン館	常設展示	有料	個人		20,780	14,980	5,800	138.7	
			団体		1,057	1,207	△ 150	87.6	
			年間パスポート		5,010	4,274	736	117.2	
			減額	福祉施設の活動		0	0	0	－
				※ 団体料金適用		485	265	220	183.0
		小計		27,332	20,726	6,606	131.9		
		免除	教育施設の活動		6,381	4,653	1,728	137.1	
			福祉施設の活動		709	452	257	156.9	
			敬老バス・ 身体障害者手帳等・その他		3,550	2,695	855	131.7	
			小計		10,640	7,800	2,840	136.4	
		無料	幼児		18,030	12,755	5,275	141.4	
		計		56,002	41,281	14,721	135.7		
		特別企画展		4,512	6,050	△ 1,538	74.6		
		各種講座・催しもの		1,205	1,027	178	117.3		
		アウトリーチ		0	10	△ 10	0.0		
		親子読書コーナー		6,360	5,281	1,079	120.4		
		合 計				68,079	53,649	14,430	126.9
かごしま近代文学館・メルヘン館 合計				92,479	71,748	20,731	128.9		

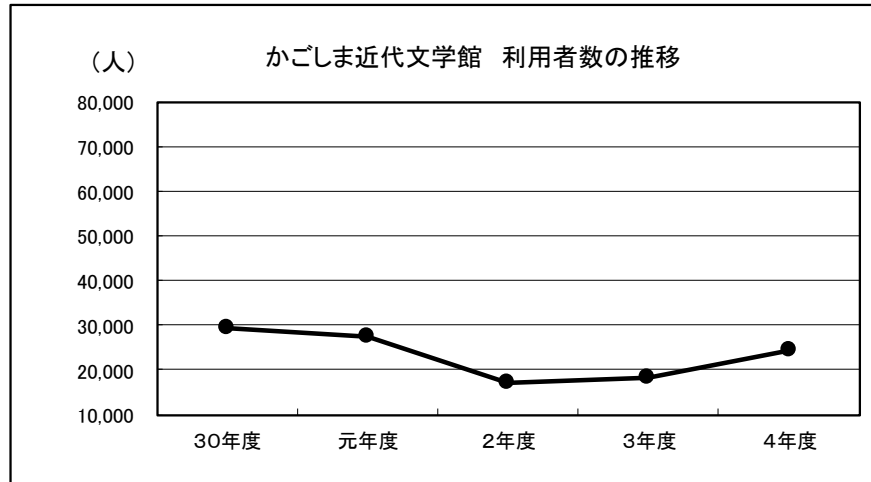
※ 団体料金適用: 鹿児島シティビュー1日パスポート、薩摩大使、美術館相互割引等期間限定割引チケット等

(令和3年度)

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8/14(土)～9/30(木)は全館休館。1/27(木)～3/6(日)はメルヘン館のみ休館

5年間の利用者数の推移

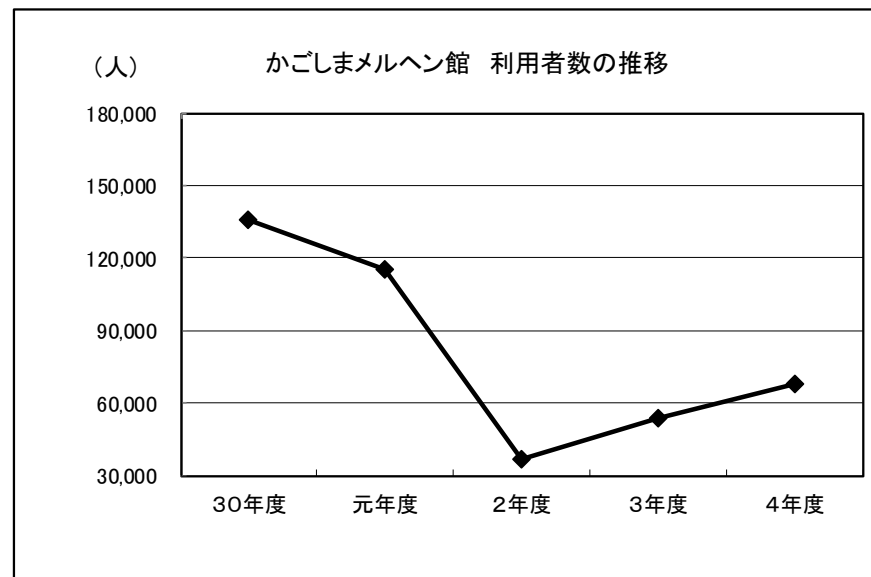
◎かごしま近代文学館



(人)

区分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	平均
利用者数	29,133	27,290	17,240	18,099	24,400	23,232

◎かごしまメルヘン館



(人)

区分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	平均
利用者数	135,973	115,553	36,721	53,649	68,079	81,995

(令和3年度)

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8/14(土)～9/30(木)は全館休館
1/27(木)～3/6(日)はメルヘン館のみ休館

(令和2年度)

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4/18(土)～5/6(水)は全館休館

令和4年度 かがしま近代文学館・かがしまメルヘン館 観覧料等収納額

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

区分			4年度		3年度		対前年度	
			件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
かがしま近代文学館	常設展示観覧料	個人	3,248	888,150	2,426	662,700	822	225,450
		団体	158	24,220	162	19,700	△ 4	4,520
		年間パスポート	249	131,850	293	155,600	△ 44	△ 23,750
		福祉施設の活動	0	0	0	0	0	0
		※ 団体料金適用	408	91,080	212	46,860	196	44,220
	計		4,063	1,135,300	3,093	884,860	970	250,440
	特別展示観覧料	個人	2,346	1,401,300	777	460,500	1,569	940,800
		団体	53	26,500	36	17,400	17	9,100
		計	2,399	1,427,800	813	477,900	1,586	949,900
	ホール使用料		32	99,100	17	28,300	15	70,800
	図録		359	273,000	466	390,200	△ 107	△ 117,200
	合計		6,853	2,935,200	4,389	1,781,260	2,464	1,153,940
かがしまメルヘン館	常設展示観覧料	個人	18,452	4,954,200	12,123	3,262,800	6,329	1,691,400
		団体	955	137,860	1,015	142,460	△ 60	△ 4,600
		年間パスポート	1,946	1,083,750	1,533	866,300	413	217,450
		福祉施設の活動	0	0	0	0	0	0
		※ 団体料金適用	485	103,800	265	53,340	220	50,460
	計		21,838	6,279,610	14,936	4,324,900	6,902	1,954,710
	特別展示観覧料	個人	2,874	1,544,400	4,211	2,021,700	△ 1,337	△ 477,300
		団体	102	45,000	192	75,600	△ 90	△ 30,600
		福祉施設の活動	0	0	0	0	0	0
	計		2,976	1,589,400	4,403	2,097,300	△ 1,427	△ 507,900
	合計		24,814	7,869,010	19,339	6,422,200	5,475	1,446,810

※ 団体料金適用：鹿児島シティビュー 1日パスポート、薩摩大使、美術館相互割引等期間限定割引チケット等

(令和3年度)

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8/14(土)～9/30(木)は全館休館。1/27(木)～3/6(日)はメルヘン館のみ休館

6 収蔵資料概要

(1) 作家別資料収集状況(平成5年度～令和4年度)

作家名	受入区分	特 別 資 料										図書 雑誌	合 計
		原 稿	自筆資料	書 簡	書 画	印刷物	写 真	映像資料	録音資料	遺品他	小 計		
海音寺潮五郎	購 入	11		12	4	1		4			32	223	255
	寄贈・寄託	287	221	833	51	224	9	9	24	162	1,820	1,479	3,299
林 美美子	購 入	11		53	12	2		10	1	1	90	302	392
	寄贈・寄託	5		10	4	2	8			68	97	269	366
棕 鳩十	購 入	9	11		6						26	172	198
	寄贈・寄託	364	18	26	57	37	1	24		29	556	576	1,132
梅崎春生	購 入	24		14	9	25		4		20	96	306	402
	寄贈・寄託	2	34	372	8	31	7		1	143	598	61	659
島尾敏雄	購 入	798	180	192	24	57	5	4	1	86	1,347	157	1,504
	寄贈・寄託	59	51	305	1	694	159	63	9	177	1,518	5,530	7,048
向田邦子	購 入	8		1		21		723	70	4	827	306	1,133
	寄贈・寄託	149	9	180	40	3,113	5,171	631	394	1,482	11,169	1,478	12,647
有島武郎	購 入	12	1	9	1			1			24	85	109
	寄贈・寄託			2	6		2			13	23	2	25
有島生馬	購 入	6		1	10						17	14	31
	寄贈・寄託			1	2						3	3	6
里見 淳	購 入	12	2		11			1			26	144	170
	寄贈・寄託										0	2	2
昇 曙夢	購 入	1		3				2			6	28	34
	寄贈・寄託										0	8	8
山本寛彦	購 入										0	13	13
	寄贈・寄託			181	3					1	185	8	193
黒田三郎	購 入	4		1	2						7	48	55
	寄贈・寄託	137	57	180	4	9	24		6	8	425	387	812
一色次郎	購 入	8									8	55	63
	寄贈・寄託					2	8				10	1	11
妻木新平	購 入										0	21	21
	寄贈・寄託	301		1	8	12	29			80	431	57	488
平林彪吾	購 入			4							4	8	12
	寄贈・寄託										0	13	13
古木鐵太郎	購 入				1						1	4	5
	寄贈・寄託	34	1	26	8	8	67			2	146	70	216
八田知紀	購 入			1	8						9	3	12
	寄贈・寄託									2	2	5	7
高崎正風	購 入			1	8					1	10	1	11
	寄贈・寄託				1	21	11				33	4	37
黒田清綱	購 入	1		2	3					1	7	0	7
	寄贈・寄託			1	9		2				12	42	54
税所敦子	購 入			8	27						35	5	40
	寄贈・寄託				1						1	1	2
杉田久女	購 入			2	12						14	11	25
	寄贈・寄託	2	11	259	120	58	318			43	811	368	1,179
山口誓子	購 入	4			16						20	46	66
	寄贈・寄託					2	2			4	8	36	44
吉井 勇	購 入	11		75	25						111	66	177
	寄贈・寄託			1							1	1	2
森園天涙	購 入	6									6		6
	寄贈・寄託	573	6	2	7	1	90			64	743	749	1,492
萬造寺齋	購 入	1	1	1	19						22	4	26
	寄贈・寄託	10	17	97	105	27	3			11	270	913	1,183
藤後左右	購 入				7						7	40	47
	寄贈・寄託	13	127	2	21	32	27			63	285	264	549
篠原風作	購 入	9		1							10	1	11
	寄贈・寄託	1	4	71	3	44	327	3	3	88	544	117	661
福永耕二	購 入				2						2	4	6
	寄 贈	19		179	78	23	33			23	355	165	520
その他	購 入	46	3	69	90	32	1	79		32	352	22,733	23,085
	寄 贈	314	275	452	101	209	684	22	48	104	2,209	18,974	21,183
小 計	購 入	982	198	450	297	138	6	828	72	145	3,116	24,800	27,916
	寄贈・寄託	2,270	831	3,181	638	4,549	6,982	752	485	2,567	22,255	31,583	53,838
合 計		3,252	1,029	3,631	935	4,687	6,988	1,580	557	2,712	25,371	56,383	81,754

※資料受入時の点数のため、実際の収蔵点数とは合致しない場合があります。

(2) 主な寄贈・寄託・購入資料

寄贈・寄託においては、この他にも多くの資料をお寄せいただきました。
誠にありがとうございました。

受入区分	作家名	資料名
購入	棕鳩十	草稿「日本文化における中央と地方」
	山口誓子	色紙「虹の環を以て地上のものかこむ」
寄贈	高濱虚子 西村数 等	短冊「夏草に遊船かかる真昼哉」 短冊「紅梅ににはかに音し玉霰」等
	島尾敏雄	葉書 島尾敏雄宛て、葉書 島尾ミホ宛て、葉書 尾寄昇宛て 等
	林芙美子	〔草稿「寿司」〕、図書『林芙美子作品集』1～10 等

寄贈・寄託 532 点 購入 498 点

7 管理運営

(1)利用者数

① かごしま近代文学館 年度別利用者数(平成30年度～令和4年度)

(単位:人)

区分・年度				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
常設展示	有料	個人	一 般	3,467	3,701	1,809	2,904	5,259	
			小中学生	419	406	158	214	239	
		小 計		3,886	4,107	1,967	3,118	5,498	
		団体	一 般	247	115	31	53	123	
			小中学生	1,595	1,722	351	141	86	
		小 計		1,842	1,837	382	194	209	
		団体料金適用			551	402	121	212	408
		年 間 パスポート (1回目)	一 般	360	350	267	274	232	
			小中学生	19	17	19	19	17	
		小 計		379	367	286	293	249	
		年 間 パスポート (2回目以降)	一 般	264	219	201	268	200	
			小中学生	4	3	8	12	8	
		小 計		268	222	209	280	208	
		福祉施設の活動(50%減額)			0	0	0	0	0
		計			6,926	6,935	2,965	4,097	6,572
		免除	敬老パス			280	422	226	329
	身体障害者手帳等			556	422	175	264	507	
	教育施設の活動			1,924	1,123	2,701	3,995	5,291	
	福祉施設の活動			405	424	72	44	129	
	新一年生パスポート			37	14	5	17	8	
	視察等・その他			2,018	2,190	1,062	1,168	1,674	
	計			5,220	4,595	4,241	5,817	8,486	
	無料	幼児			433	378	226	217	277
		その他			0	0	0	0	0
		計			433	378	226	217	277
計			12,579	11,908	7,432	10,131	15,335		
館主催行事	特別企画展			1,757	1,360	0	1,044	3,486	
	講演会・講座等			3,902	2,788	1,600	1,601	1,567	
	出前			0	36	0	0	0	
	その他の催し等			4,868	4,369	※1 6,227	※2 3,999	1,078	
	計			10,527	8,553	7,827	6,644	6,131	
ライブラリー			4,371	4,832	1,157	926	1,662		
文学ホール利用者(貸出)			472	1,065	674	188	901		
メルヘンホール利用者(貸出)			1,184	932	150	210	371		
合 計			29,133	27,290	17,240	18,099	24,400		
開館日数(日)			309	310	292	268	307		
1日平均利用者(人)			94	88	59	68	79		

※1:財団自主事業「特別展 りぼん 250万里ぼんっ子大増刊号」入場者数5,714人を含む。

※2:財団自主事業「特別展 りぼん 250万里ぼんっ子大増刊号」入場者数3,013人を含む。

(開催期間 令和2年3月10日から4月12日まで 延べ入場者数8,727人)

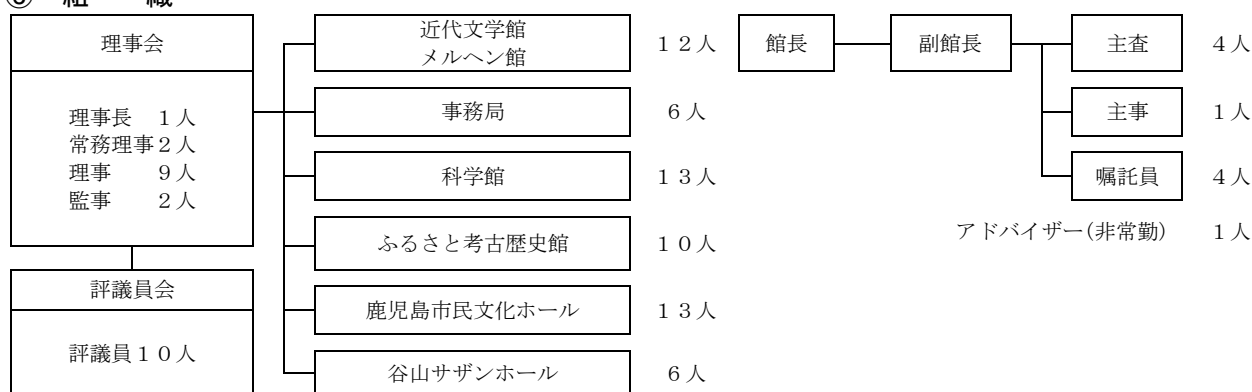
② かがしまメルヘン館 年度別利用者数(平成30年度～令和4年度)

(単位:人)

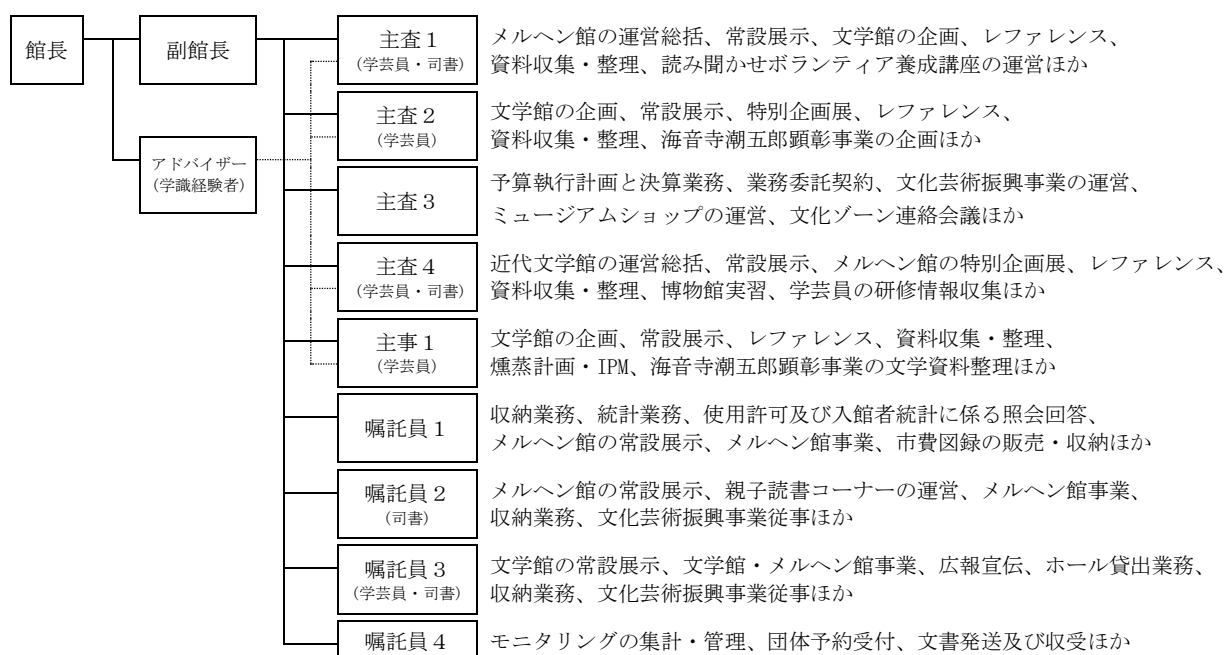
区分・年度				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
常設展示	有料	個人	一 般	26,629	25,826	8,283	11,581	16,740	
			小中学生	10,533	7,315	1,924	3,399	4,040	
			小 計	37,162	33,141	10,207	14,980	20,780	
		団体	一 般	1,628	753	37	317	304	
			小中学生	8,477	8,075	704	890	753	
			小 計	10,105	8,828	741	1,207	1,057	
		団体料金適用			966	676	164	265	485
		年 間 パスポート (1回目)	一 般	2,319	1,936	1,429	1,403	1,708	
			小中学生	394	315	125	130	238	
			小 計	2,713	2,251	1,554	1,533	1,946	
		年 間 パスポート (2回目以降)	一 般	4,299	3,493	2,399	2,595	2,830	
			小中学生	460	412	137	146	234	
			小 計	4,759	3,905	2,536	2,741	3,064	
		福祉施設の活動(50%減額)			11	7	2	0	0
		計			55,716	48,808	15,204	20,726	27,332
	免除	敬老パス			443	525	262	254	353
		身体障害者手帳等			1,576	1,237	664	700	1,042
		教育施設の活動等			5,265	4,914	3,447	4,653	6,381
		福祉施設の活動(免除)			1,567	1,170	468	452	709
		新一年生パスポート			660	635	290	444	440
		視察等・その他			2,583	2,820	1,103	1,297	1,715
		計			12,094	11,301	6,234	7,800	10,640
	無料	幼児			27,595	25,251	10,435	12,755	18,030
		その他			0	0	0	0	0
		計			27,595	25,251	10,435	12,755	18,030
	計			95,405	85,360	31,873	41,281	56,002	
館主催行事	特別企画展			23,164	15,728	0	6,050	4,512	
	おはなし会			272	280	0	24	105	
	えいが会			0	0	0	0	0	
	ワークショップ			179	114	70	77	74	
	出前等			53	501	0	10	0	
	その他の催し等			4,599	3,515	523	926	1,026	
	計			28,267	20,138	593	7,087	5,717	
親子読書コーナー			12,301	10,055	4,255	5,281	6,360		
合 計			135,973	115,553	36,721	53,649	68,079		
開館日数(日)			309	310	292	234	307		
1日平均利用者(人)			440	373	126	229	222		

(2) 公益財団法人かごしま教育文化振興財団の概要（令和5年3月31日現在）

- | | |
|---------|--|
| ① 目 的 | この法人は、鹿児島市の設置する教育文化施設の管理運営等を行うとともに、教育、学術、芸術文化及び生涯学習に関する各種の事業を行い、もって個性豊かな市民文化を創造することを目的とする。 |
| ② 事 業 | ・教育文化施設の管理及び運営に関する事業
・学術及び芸術文化に関する企画を提供する事業
・学術及び芸術文化の普及及び支援に関する事業
・利用者サービス事業
・その他この法人の目的を達成するために必要な事業 |
| ③ 事 務 局 | 鹿児島県鹿児島市城山町 5 番 1 号 かごしま近代文学館内 |
| ④ 基本財産 | 1 億 1 千万円 |
| ⑤ 設立年月日 | 1997（平成 9）年 12 月 1 日 |
| ⑥ 組 織 | |



(3) かがしま近代文学館・かがしまメルヘン館 事務の業務体制 (令和5年3月31日現在)



8 かごしま近代文学館条例

平成9年10月3日
条例 第35号

(設置)

第1条 本市における文学の振興及び文化の向上を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条の規定に基づき、近代文学館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 近代文学館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
かごしま近代文学館	鹿児島市城山町5番1号

(事業)

第3条 かごしま近代文学館(以下「近代文学館」という。)は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 鹿児島にゆかりのある近代文学等(以下「近代文学等」という。)に関する資料を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 近代文学等に関する調査及び研究を行うこと。
- (3) 近代文学等に関する講座、講演会等を開催すること。
- (4) 近代文学等及び童話等に関する展示会、講演会等のために近代文学館の施設及び設備(以下「施設等」という。)を提供すること。
- (5) その他近代文学館の設置の目的を達成するために必要な事業

(指定管理者による管理)

第3条の2 近代文学館の管理は、法人その他の団体であつて、市長が指定するもの(以下「指定管理者」という。)にこれを行わせることができる。

(平17条例71・追加、平26条例24・一部改正)

(指定管理者の指定の申請)

第3条の3 前条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他市長が必要と認める書類を添えて申請しなければならない。

(平17条例71・追加、平26条例24・一部改正)

(指定管理者の指定)

第3条の4 市長は、前条の規定による申請があつたときは、次の各号のいずれにも該当するもののうちから指定管理者の候補者を選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定しなければならない。

- (1) 近代文学館の設置目的を達成することができるものであること。
- (2) 市民の平等利用を確保することができるものであること。
- (3) 近代文学館の効用を最大限に発揮するとともに、管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 近代文学館の管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有しており、又は確保できる見込みがあること。

(平17条例71・追加、平26条例24・一部改正)

(指定管理者が行う業務)

第3条の5 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第3条各号に掲げる事業に関する業務
- (2) 第5条及び第6条の規定による近代文学館の使用の許可等に関する業務
- (3) 第7条の規定による近代文学館の使用許可の取消し等に関する業務
- (4) 第11条の規定による近代文学館の使用目的の変更の許可に関する業務
- (5) 第12条の規定による近代文学館における特別の設備の付加の許可等に関する業務
- (6) 第14条の規定による近代文学館の入館の制限に関する業務
- (7) 施設等の維持管理に関する業務
- (8) 前各号に掲げるもののほか、近代文学館の運営に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

(平17条例71・追加、平26条例24・一部改正)

(開館時間等)

第3条の6 近代文学館の開館時間は、午前9時30分から午後6時までとする。ただし、近代文学館に入館することができる時間(以下「入館時間」という。)は、午前9時30分から午後5時30分までとする。

2 近代文学館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 火曜日(その日が休日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日、1月2日及び同月3日をいう。以下同じ。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い日で休日でない日)
- (2) 12月29日から翌年の1月1日まで

3 前2項の規定にかかわらず、市長が特に必要があると認めるときは、開館時間若しくは入館時間を変更し、又は臨時に休館日を設け、若しくは臨時に開館することができる。

(平17条例71・追加、平26条例24・一部改正)

(観覧料等)

第4条 近代文学館が主催して展示する近代文学等に関する資料(以下「文学資料等」という。)を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

2 次条に規定する許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、別表第2に定める使用料を規則で定める期日までに納付しなければならない。

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者に管理を行わせる場合において、別表第1及び別表第2に定める額の範囲内で当該指定管理者が市長の承認を得て料金を定めたときは、文学資料等を観覧しようとする者又は使用者は、当該料金(以下「利用料金」という。)を納付しなければならない。

4 観覧料(前項の場合にあつては、利用料金)は、前納とする。ただし、市長(同項の場合にあつては、指定管理者。第9条において同じ。)が特に必要があると認めるときは、後納とすることができる。

5 利用料金は、指定管理者の収入として収受させる。

(平17条例71・全改、平26条例24・一部改正)

(使用の許可)

第5条 近代文学等及び童話等に関する展示会、講演会等のため、施設等を使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 市長は、施設等の管理上必要があると認めるときは、前項の許可に条件を付けることができる。

(平26条例24・一部改正)

(使用の不許可)

第6条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、施設等の使用を許可しない。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 文学資料等又は施設等を毀損し、又は汚損するおそれがあると認めるとき。
- (3) 前2号に掲げる場合のほか、施設等の管理上支障があると認めるとき。

(平26条例24・一部改正)

(使用許可の取消し等)

第7条 市長は、使用者の申出による場合のほか、次の各号のいずれかに該当するときは、施設等の使用を停止させ、又は使用許可を取り消すことができる。

- (1) 使用者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 使用者が使用許可の条件に違反したとき。
- (3) 使用者が偽りその他不正な手段により使用許可を受けたとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、市長が管理上又は公益上必要と認めたとき。

2 前項の規定により、市長が施設等の使用を停止させ、又は使用許可を取り消した場合において、使用者に損害が生じて、市の賠償の責めを負わないものとする。

(平17条例71・平26条例24・一部改正)

第8条 削除

(平17条例71)

(観覧料等の減免)

第9条 市長は、規則で定める特別の理由があると認めるときは、観覧料及び使用料(第4条第3項の場合にあつては、利用料金。次条において同じ。)を減額し、又は免除することができる。

(平17条例71・平26条例24・一部改正)

(観覧料等の不還付)

第10条 既納の観覧料及び使用料は、還付しない。ただし、規則で定める特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(平17条例71・平26条例24・一部改正)

(使用する権利の譲渡等の禁止)

第11条 使用者は、施設等を使用する権利を譲渡し、若しくは転貸し、又は市長の許可を受けずに目的を変更することはできない。

(平26条例24・一部改正)

(特別の設備等)

第12条 使用者は、近代文学館の使用に当たって、特別の設備を付加し、又は近代文学館の備品以外の器具を搬入し、使用しようとするときは、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、管理上必要があると認めるときは、使用者の負担において特別な設備をさせることができる。

3 使用者は、前2項の規定により特別の設備を付加し、又は近代文学館の備品以外の器具を搬入し、使用したときは、使用許可期間満了までにこれを撤去し、原状に復さなければならない。

(平26条例24・一部改正)

(使用者の義務)

第13条 使用者は、使用期間中その使用に係る施設等を善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。

(入館の制限)

第14条 市長は、近代文学館を利用する者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるとき。
- (2) 文学資料等又は施設等を毀損し、若しくは汚損し、又はこれらの行為をするおそれがあるとき。
- (3) 管理上の必要な指示に従わないとき。
- (4) その他管理上支障があると認められるとき。

(平26条例24・一部改正)

(損害賠償義務)

第15条 故意又は過失により、文学資料等又は施設等をき損し、汚損し、又は亡失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(秘密保持義務)

第16条 指定管理者又は近代文学館の業務に従事している者(以下「従事者」という。)は、個人情報適切に保護されるよう配慮するとともに、近代文学館の管理に関し、知ることのできた秘密を他に漏らし、又は自己の利益のために利用してはならない。指定管理者の指定の期間が満了し、若しくは指定を取り消され、又は従事者の職務を退いた後においても、同様とする。

(平17条例71・全改)

(委任)

第17条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

(平26条例24・一部改正)

付 則

(施行期日)

1 この条例は、市長が規則で定める日から施行する。

(鹿児島市議会の議決を必要とする重要な公の施設を定める条例の一部改正)

- 2 鹿児島市議会の議決を必要とする重要な公の施設を定める条例(昭和42年条例第37号)の一部を次のように改正する。
第1条中第29号を第30号とし、第16号から第28号までを1号ずつ繰り下げ、第15号の次に次の1号を加える。
(16) かがしま近代文学館
付 則 (平成17年3月30日条例第22号)
この条例は、平成17年4月1日から施行する。
付 則 (平成17年7月11日条例第71号)
この条例は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第3条の次に5条を加える改正規定(第3条の3及び第3条の4に係る部分に限る。)は、公布の日から施行する。
付 則 (平成26年3月18日条例第24号抄)
(施行期日)
1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

別表第1(第4条関係)

(平17条例22・平26条例24・一部改正)

区 分			観 覧 料	
			個 人	20 人以上の団体
常設展示	近代文学館	一 般	300 円	1人につき 240 円
		中学生・小学生	150 円	1人につき 120 円
	共通	一 般	500 円	1人につき 400 円
		中学生・小学生	250 円	1人につき 200 円
年間観覧券	近代文学館	一 般	1人1年間につき 600 円	
		中学生・小学生	1人1年間につき 300 円	
	共通	一 般	1人1年間につき 1,000 円	
		中学生・小学生	1人1年間につき 500 円	
特 別 展 示			1人につき 2,000 円以内で市長が定める額	

備考

- 「常設展示」とは近代文学館が平常的に常設展示室で行う文学資料等の展示をいい、「特別展示」とは近代文学館が特別に文学ホールで行う文学資料等の展示をいう。
- 「共通」とは、近代文学館の常設展示とかがしまメルヘン館条例(平成9年条例第36号)に規定するかがしまメルヘン館の常設展示との両方を観覧する場合をいう。
- 「一般」とは、小学生及び中学生以外の者で15歳以上のものをいう。
- 小学校に就学するまでの者は、無料とする。
- 年間観覧券の有効期間は、観覧料の納付の日から起算して1年間とする。

別表第2(第4条関係)

(平26条例24・一部改正)

1 文学ホール等使用料

区 分		午前9時30分から 午後1時まで	午後1時から 午後6時まで	午前9時30分から 午後6時まで
文学ホール	使用者が入場料金を徴収しない場合	2,500 円	3,500 円	6,000 円
	使用者が入場料金を徴収する場合	3,200 円	4,600 円	7,800 円
メルヘンホール	使用者が入場料金を徴収しない場合	1,000 円	1,400 円	2,400 円
	使用者が入場料金を徴収する場合	1,200 円	1,800 円	3,000 円

2 附属設備使用料

附属設備	1,000 円以内で規則で定める額
------	-------------------

9 かごしまメルヘン館条例

平成9年10月3日
条例 第36号

(設置)

第1条 人形の展示及び映像等を通じ、童話、民話等の物語の世界を演出することにより、青少年に夢を与えとともに市民の豊かな感性を育むため、かごしまメルヘン館(以下「メルヘン館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 メルヘン館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
かごしまメルヘン館	鹿児島市城山町5番1号

(指定管理者による管理)

第2条の2 メルヘン館の管理は、法人その他の団体であつて、市長が指定するもの(以下「指定管理者」という。)にこれを行わせることができる。

(平17条例72・追加)

(指定管理者の指定の申請)

第2条の3 前条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他市長が必要と認める書類を添えて申請しなければならない。

(平17条例72・追加)

(指定管理者の指定)

第2条の4 市長は、前条の規定による申請があつたときは、次の各号のいずれにも該当するもののうちから指定管理者の候補者を選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定しなければならない。

- (1) メルヘン館の設置目的を達成することができるものであること。
- (2) 市民の平等利用を確保することができるものであること。
- (3) メルヘン館の効用を最大限に発揮するとともに、管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) メルヘン館の管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有しており、又は確保できる見込みがあること。

(平17条例72・追加)

(指定管理者が行う業務)

第2条の5 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第6条の規定によるメルヘン館の入館の制限に関する業務
- (2) メルヘン館の施設及び設備の維持管理に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、メルヘン館の運営に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

(平17条例72・追加)

(開館時間等)

第2条の6 メルヘン館の開館時間は、午前9時30分から午後6時までとする。ただし、メルヘン館に入館することができる時間(以下「入館時間」という。)は、午前9時30分から午後5時30分までとする。

2 メルヘン館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 火曜日(その日が休日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日、1月2日及び同月3日をいう。以下同じ。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い日で休日でない日)
- (2) 12月29日から翌年の1月1日まで

3 前2項の規定にかかわらず、市長が特に必要があると認めるときは、開館時間若しくは入館時間を変更し、又は臨時に休館日を設け、若しくは臨時に開館することができる。

(平17条例72・追加)

(観覧料等)

第3条 メルヘン館の展示物を観覧しようとする者は、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者に管理を行わせる場合において、別表に定める額の範囲内で当該指定管理者が市長の承認を得て料金を定めたときは、メルヘン館の展示物を観覧しようとする者は、当該料金(以下「利用料金」という。)を納付しなければならない。

3 観覧料(前項の場合にあつては、利用料金。次条及び第5条において同じ。)は、前納とする。ただし、市長(同項の場合にあつては、指定管理者。次条において同じ。)が特に必要があると認めるときは、後納とすることができる。

4 利用料金は、指定管理者の収入として収受させる。

(平17条例72・全改)

(観覧料等の減免)

第4条 市長は、規則で定める特別の理由があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

(平17条例72・一部改正)

(観覧料等の不還付)

第5条 既納の観覧料は、還付しない。ただし、規則で定める特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(平17条例72・一部改正)

(入館の制限)

第6条 市長は、メルヘン館を利用する者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるとき。
- (2) メルヘン館の施設、附属設備又は展示物(以下「施設等」という。)をき損し、若しくは汚損し、又はこれらの行為をするおそれがあるとき。
- (3) 管理上の必要な指示に従わないとき。
- (4) その他管理上支障があると認められるとき。

(平 17 条例 72・一部改正)

(損害賠償義務)

第 7 条 故意又は過失により、施設等をき損し、汚損し、又は亡失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(秘密保持義務)

第 8 条 指定管理者又はメルヘン館の業務に従事している者(以下「従事者」という。)は、個人情報適切に保護されるよう配慮するとともに、メルヘン館の管理に関し、知ることのできた秘密を他に漏らし、又は自己の利益のために利用してはならない。指定管理者の指定の期間が満了し、若しくは指定を取り消され、又は従事者の職務を退いた後においても、同様とする。

(平 17 条例 72・全改)

(委任)

第 9 条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

付 則

(施行期日)

1 この条例は、市長が規則で定める日から施行する。

(鹿児島市議会の議決を必要とする重要な公の施設を定める条例の一部改正)

2 鹿児島市議会の議決を必要とする重要な公の施設を定める条例(昭和 42 年条例第 37 号)の一部を次のように改正する。

第 1 条中第 30 号を第 31 号とし、第 17 号から第 29 号までを 1 号ずつ繰り下げ、第 16 号の次に次の 1 号を加える。

(17) かごしまメルヘン館

付 則 (平成 17 年 3 月 30 日条例第 22 号)

この条例は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

付 則 (平成 17 年 7 月 11 日条例第 72 号)

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 2 条の次に 5 条を加える改正規定(第 2 条の 3 及び第 2 条の 4 に係る部分に限る。)は、公布の日から施行する。

別表(第 3 条関係)

(平 17 条例 22・一部改正)

区 分			観 覧 料	
			個 人	20 人以上の団体
常設展示	メルヘン館	一 般	300 円	1人につき 240 円
		中学生・小学生	150 円	1人につき 120 円
	共通	一 般	500 円	1人につき 400 円
		中学生・小学生	250 円	1人につき 200 円
年間観覧券	メルヘン館	一 般	1人1年間につき 600 円	
		中学生・小学生	1人1年間につき 300 円	
	共通	一 般	1人1年間につき 1,000 円	
		中学生・小学生	1人1年間につき 500 円	
特 別 展 示			1人につき 2,000 円以内で市長が定める額	

備考

- 「常設展示」とはメルヘン館が平常的に常設展示室で行う展示をいい、「特別展示」とはメルヘン館が特別に文学ホールで行う展示をいう。
- 「共通」とは、メルヘン館の常設展示とかごしま近代文学館条例(平成 9 年条例第 35 号)に規定するかごしま近代文学館の常設展示との両方を観覧する場合をいう。
- 「一般」とは、小学生及び中学生以外の者で 15 歳以上のものをいう。
- 小学校に就学するまでの者は、無料とする。
- 年間観覧券の有効期間は、観覧料の納付の日から起算して 1 年間とする。

かごしま
近代文学館・メルヘン館年報
令和4年度（2022）

発行日 令和5年9月
発 行 かごしま近代文学館
かごしまメルヘン館

〒892-0853

鹿児島市城山町5番1号

電話 099-226-7771

FAX 099-227-2653

<https://www.k-kb.or.jp/kinmeru>